



ほっかい

水とふれあい通信

◇発行 者／岩見沢市6条西7丁目 北 海 土 地 改 良 区

TEL (0126) 22-2400 FAX (0126) 22-8012

URLアドレス <http://www.midorinet-hokkai.jp>

◇印 刷／弘文社印刷株式会社 岩見沢市5条東11丁目



2009 みかさ 『北海幹線用水路に桜を植えよう!』

(平成21年6月1日「道の駅三笠」東側パークゴルフ場奥 北海幹線用水路沿線 約1,000m)

主 な 内 容

平成21年通常総代会開催	2
平成21年度事業計画	3
平成21年度予算等の概要	4～8
各種表彰・人事通信ほか	9～14
地域用水機能増進事業	15～16
お知らせ ほか	17～18

改良区の現況	
地区面積	33,430ha
組合員数	2,743人
平成20年11月対比△45人	
平成21年4月1日現在	

第79号

平成二十一年 通常総代会開催

平成二十一年通常総代会が、三月二十三日岩見沢平安閣において総代一〇一名の出席を得て開催され、議長に清水和雄氏（岩見沢市・第八区）、議事録記名人に小西孝氏（砂川市・第一区）、安藤俊秀氏（三笠市・第六区）を各々選出し、報告三件、議案五十八件について慎重審議の結果、原案通り承認決定されました。

開会の挨拶



北海道土地改良区
理事長
眞野 弘

総代会開催にあたりましてひと言御挨拶を申し上げます。

温暖化と異常な雪のない冬のせいで春の訪れは例年無く早いようであります。ハウス作業はもうそろんでありますが、すべての農作業、本番を迎えておりますが今日は忙しい予定をお差し繰り、また犠牲にしてお席でございます。心から御礼と感謝を申し上げます。

ご案内のように国内社会、アメリカ力発の金融危機に始まり大不況下にあります。金融機関はもとより輸出産業を始めすべての分野が縮小、停滞、撤退、そして破綻と、雇用問題を中心に深刻な流れであります。一応その経済対策の第一弾、20年度追加補正の関連法案そして21年度予算、例の憲法59条、3分の2条項によって成立

確定したところであります。これによる農業関連では懸案だった水田フル活用推進交付金10a、3、000円、381億円の財源確保を始め、その目的比重が生活支援なのか消費刺激なのか我々には分かりませんが話題の多い定額給付金2兆円の支給がやっと本物になったところでもあります。加えての経済対策21年度補正が今検討のようであります。政局不安定の中にあっても一億国民の安心と希望に添う本来の政治の役割、大きく期待をする次第であります。農業関連ではファルコナー議長、ラミー事務局長の来日圧力もあって、その展開方向に一抹の不安もあるWTOも大きくありますが世界の食料が過剰から逼迫の現状の中で自給力の強化が国家戦略としてまったなしの状況にもあります。そのために水田フル活用はもう460万ヘクタールの全農地のフル活用が喫緊の課題だと思っております。農水省はもちろん、諮問会議の農業基本計画審議会企画部会、そして自民党基本政策小委員会、また政府は石破大臣を中心に6大臣による関係閣僚会議の立ち上げなど戦力構築にシシクタンク総動員態勢であります。38万ヘクタールといわれる遊休農地の再生、転作制度の見直し、産地づくりから産地確立制度など経営安定等所得政策の見直し、利用権へのシフトとも言われる農地法の改正、昨年から集中審議の地方分権改革推進議論等々、農村社会が一変するかの関連議論が集中する極めて気の抜けない一年になりそうであります。昨年の地域農業、作物によって多少の差はありますが水稲の105を中心にうれし秋になったところではありますが、せつかくの豊作も生産資材の高騰によって財布の大きな足しにはなっていない現状だと思えます。

苦悩の続く農家経済、組合員感情にしっかりと視点を置きながら申し上げました農政問題には土地連を中心に関村会・JAとの連携を図りながらしっかりと取り組んで参りたいと考えております。ご承知いただいていただくとおり北海道土地改良区は桁違いの規模の大きさを誇って

おりますが無難に運営させていただいているのも役員員の真摯なご活躍のおかげであり分水区長・支線長そして総代皆様の理解協力であり組合員の温かい御支援によるものであります。業務・財務・機構組織など運営の基本については中期計画を基本としながら忠実に精神的に取り組んでいるところでもあります。関係者はご案内のとおり3月10日、12日と栗沢事業所、北村事業所の閉所式を終えた次第であります。新年度から岩見沢事業所として、また一部大富については美唄事業所で、より以上の役割をしっかりと果たして参りたいと御理解を頂いているところであります。最後に国営事業、道営事業について申し上げます。順調に進めていた栗沢と南幌地区の将来的にも完璧な水資源であるシューパロダム、道央二期地区として平成24年完成を目指していたところではありますが一部地滑りの発生がありまして地質の再調査が必要になったことから二カ年の完成延長が余儀なくされたことであります。

水不足の地区にとつて早期完成を期待していただけて誠に申し訳ない思いであります。空知中央用水地区に進めている市来知頭首工、次期事業北海道地区の調査、農地再編の美唄地区調査については順調に進めていただいております。また少しく予定どおり予算付けの無かつた道営事業については心配をおかけしていただきましたが道庁の格別の計らいも頂いて道州制特区交付金の活用が可能とさせていただきます。今年の道営事業総体では30地区、6、407百万円実施の予定であります。あわせて今年には最大級のかん排事業、空知中央土地改良事業の完工を記念する事業を企画しているところでもあります。当改良区運営のシンボルでもある北海道幹線用水路が中心の桁違いな巨額な1、370億円投資の完工であります。是非区長さん始め総代さん支線長さんのご参加も頂いての6月23日を予定しております。

さて今日の案件であります報告案件が3件、議案事項が58件ございます。議長さん中心にご審議賜りますようお願いを申し上げます。総代会冒頭挨拶と致します。

年度末お忙しい中、ご出席大変ありがとうございます。

平成二十一年度 事業計画の概要

本年度、事業計画の柱として次の4項目を重点事項と位置付け、積極的に推進して参ります。

第一 農業農村整備事業の計画的推進

(一) 国営事業

本年度、空知中央用水地区かんがい排水事業・道央用水地区2期・3期地区の推進を図って参ります。

また、北海道地区かんがい排水事業、美瑛地区農地再編整備事業の早期着工にむけ、調査推進体制を強化する。

(二) 道営事業

本年度、「持続的農業・農村づくり促進特別対策事業（平成18～22年までの5年間）」のもと、最大限の負担軽減をはかり、新規（調査4地区・着工4地区）を含め30地区・64億円強の事業予算にて実施。

第二 地域資源の適正な保全管理

(一) 地域との連携強化

水と土を守り育ててきたこれまでの役割に加え、ふるさとの歴史や文化の継承、環境・景観の形成など多面的な機能を果たしている豊かな農村環境と貴重な資源を、次の世代に引き継いでいくためにも、その有効活用と適切な保全管理に、地域と連携し進めて参ります。

・地域用水機能増進事業

・国営造成施設管理体制整備促進事業

・農地・水・環境保全向上対策

・21世紀土地改良区創造運動

第三 中期計画の着実なる推進

中期計画（平成18年度～22年度の5ヶ年計画）の着実且つ円滑に推進し、組織体制強化と早期経費削減効果発現に努めます。

第四 総代選挙区等の見直し検討

組合員の高年齢化、減少等による総代等構成の適正かつ公正なる見直しを検討する。

参加者大募集!!

先着**200名**

●締切日
7月23日(木)午後5時まで
定員になり次第締切らせていただきます

開催日 **7月26日(日)**
【朝9時受付】朝10時スタート(13時終了予定)

集合場所 **北海幹線用水路管理棟前**
美瑛市光珠内町(JR峰延駅より北東へ約1.5km)臨時駐車場あり

コース **3コース**
ロング約10km・セミロング約7km・ショート約3km
(ただし、事情によりコースを変更する場合があります)

今年も楽しい企画が盛りだくさん!

○新鮮農産物販売 ○木工品販売 ○大抽選会 ○農業事業(ネル展など)
楽しさ盛り沢山で待っています

申し込み方法

参加希望者は氏名・住所・年齢・電話番号を下記までお申し込みください。
北海土地改良区 水土里ネット推進室「ウォーキング事務局」
TEL(0126)22-2400・FAX(0126)22-8012

受付時間:TELは土日祝日を除く午前9時から午後5時30分まで、FAXは1日24時間受付しています。

メールアドレス (1日24時間受付)

h21.walking@midorinet-hokkai.jp

◎主催:北海土地改良区 ◎共催:岩見沢農業事務所、空知森林管理署、空知支庁 ◎後援:美瑛市、JAみねのぶ、空知中央地区地域用水対策協議会



平成 20 年度 第 2 回補正予算の概要

一 般 会 計 41,000 千円 増額補正

平成 21 年 3 月 23 日開催の平成 21 年度通常総代会において、営造物管理費、土地改良事業費及び負担金を主たる要因として、41,000 千円を追加し、総額 10,651,000 千円とする第 2 回補正予算を可決した。

平成 20 年度 一般会計第 2 回補正予算表

収 入

(単位：千円)

科 目	補正前の額	補正額	計
賦 課 金	2,498,022	△ 35,541	2,462,481
使 用 料	15,207	815	16,022
補 助 金 及 び 助 成 金	580,375	△ 139	580,236
財 産 収 入	34,504	4,302	38,806
受 託 及 び 補 償 金	61,201	40,024	101,225
繰 入 金	1,240,588	49,437	1,290,025
借 入 金	5,636,623	△ 77,810	5,558,813
諸 収 入	293,570	59,912	353,482
換 地 費	52,566		52,566
繰 越 金	197,344		197,344
収 入 合 計	10,610,000	41,000	10,651,000

支 出

(単位：千円)

科 目	補正前の額	補正額	計
一 般 管 理 費	886,015	△ 11,995	874,020
営造物管理費	917,438	22,178	939,616
土 地 改 良 事 業 費	215,432	39,814	255,246
諸 税 及 び 負 担 金	6,345,835	△ 80,630	6,265,205
繰 出 金	541,442	54,245	595,687
償 還 金	1,599,907	6,737	1,606,644
諸 支 出 金	43,638	10,655	54,249
換 地 費	52,566	0	52,566
予 備 費	7,727	△ 4	7,723
支 出 合 計	10,610,000	41,000	10,651,000

《 面積が変わったらすぐ手続きを 》

農地が減ったり増えたりした時や、耕作者が変わった時はすぐ土地改良区に届出
(名義及び地目変更又は地区除外の手続き) をして下さい。

届出がない場合は、そのまま賦課されますので、農業委員会、農業協同組合に手続きを
行った際は、ぜひ土地改良区にも届出をお願い致します。

尚、いずれも農業委員会の書面、分筆図等の書類と印鑑を持参の上、届出をして下さい。

(変更の手続きは、**賦課調整課、各事業所**へ)

平成21年度予算の概要

総 額 4,680,000 千円とする！

平成21年度 一般会計予算書

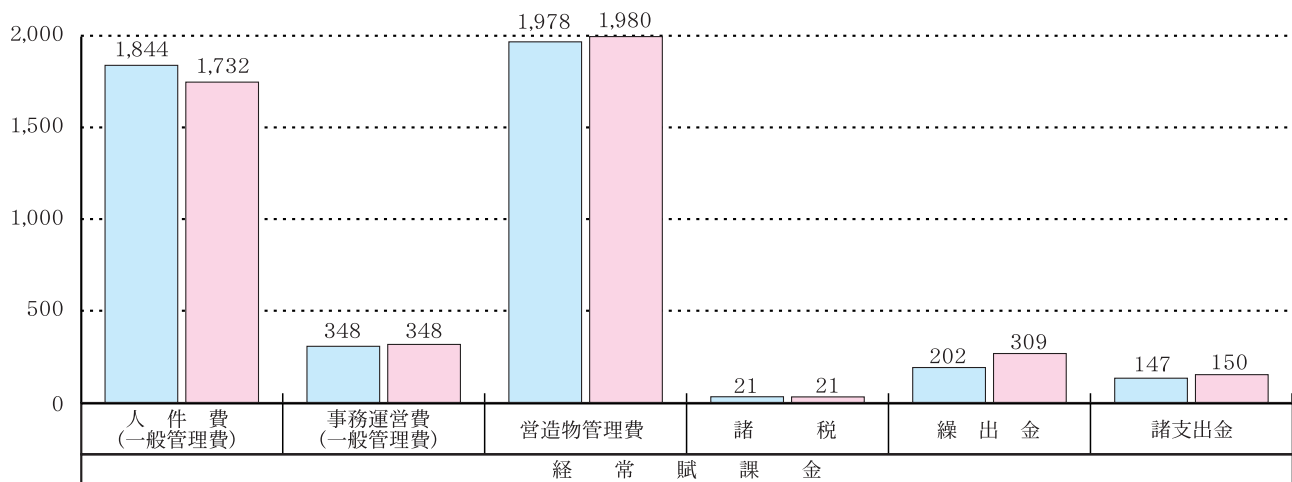
収 入 (単位：千円)			支 出 (単位：千円)		
款	予 算 額	説 明	款	予 算 額	説 明
賦 課 金	2,466,243	経常賦課金 1,261,777 特別賦課金 1,179,567 事業賦課金 24,899	一 般 管 理 費	868,265	役職員人件費 728,758 需用費 49,022 備品費 49,780 営繕費 15,086 会議費 4,908 使用料手数料 18,910 選挙費 1 交際費 1,800
使 用 料	14,506	契約使用料 4,687 許可使用料 9,819	営 造 物 管 理 費	905,635	頭首工管理費 14,132 貯水池管理費 18,836 溝路管理費 98,045 揚水機管理費 392,231 交付金・助成金 60,285 適正化事業費 221,200 非補助事業費 1 拠出金 67,429 管理諸費 33,476
補 助 金 及び助成金	452,429	補助金 24,425 助成金 232,929 交付金 195,075	土 地 改 良 事 業 費	131,498	団体営事業費 35,500 補償工事費 35,000 受託事業費 60,998
財 産 収 入	26,697	財産運用収入 (預金利子、配当金、財産貸付等)	諸 税 及 び 負 担 金	743,524	諸税 7,135 国営負担金 179,816 道営分担金 550,544 その他事業負担金 6,029
受 託 及 び 補 償 金	95,998	受託金 60,998 補償金 35,000	繰 出 金	211,525	財産繰出金 4,004 積立金繰出金 109,478 特定積立繰出金 98,043
繰 入 金	408,939	基本財産繰入金 3,140 積立金繰入金 405,799	償 還 金	1,767,374	農林漁業資金償還金 654,900 長期借入金償還金 821,731 繰上償還金 290,743
借 入 金	835,146	農林漁業資金借入金 448,750 長期借入金 386,396	諸 支 出 金	44,177	財産取得費 2,301 厚生管理費 2,300 一時借入金利子 3,000 事業推進費 2,000 団体負担金 4,645 諸費 29,931
諸 収 入	290,040	諸収入	換 地 費	2	(科目存置)
換 地 費	2	(科目存置)	予 備 費	8,000	予備費
繰 越 金	90,000	前年度繰越金	支 出 合 計	4,680,000	
収入合計	4,680,000				

平成21年度の賦課金について

経常賦課金（地積割）4,540 円（据え置き）で決定！

①平成 20・21 年度 10a 当たり経常賦課金内訳 （単位：円）

1,844	348	1,978	370	4,540	<div><div></div>平成20年度</div> <div><div></div>平成21年度</div>
人 件 費	事 務 運 営 費	営 造 物 管 理 費	そ の 他		
1,732	348	1,980	480	4,540	



②特別賦課金

地 区 名	償還賦課金（地積割分）		償還賦課金（個人分）
北 海	10a 当り	2,500 円	旧改良区毎の取扱いを継承する。
中 村	10a 当り	700 円	
岩 見 沢	10a 当り	5,000 円	
栗 沢	10a 当り	1,650 円	
三 笠	10a 当り	5,000 円（前田、小野、鈴木の沢区域）	
奈 井 江	10a 当り	150 円	

※国営造成施設管理体制整備促進事業の支援額の一部を経常賦課金に充当する事とし 10 アール当り 520円を減額して徴収するものとします。

賦課金の納期納入にご協力を！

平成 21 年度賦課金の徴収期日は、下記の通りとなります。納期までに納入して下さい。

◎第 1 期 **6 月 15 日～7 月 15 日**（経常賦課金の 70%）

◎第 2 期 **10 月 14 日～11 月 15 日**（〃 30% 及特別賦課金）

賦課金等についての問い合わせは、**賦課調整課・各事業所** をお願いします。

平成21年度の農地転用決済金

決済金は土地改良区に賦課金を納めている土地を水田以外の目的に使用する場合は地区除外の申請をする事になっております。その時に納めていただく事となる金額です。

決済金とは

- ①土地改良事業により、土地改良区が負担する事になっている負担金
 - ②事業負担金の内、借入れをしている分の償還金
 - ③土地改良施設の維持管理費の面積減少分（基準維持管理費の20年分）を合計したものです。
- 但し、条件により下記減免措置が適用されます。詳細内容についてはお問い合わせ願います。

決済金に係る地区別一覧表

(10a/円)

地区名	区 域	決済金	減 免 措 置			
			土 地 改 良 施 設 敷 地	組 合 員 の 営 農 に 要 する 敷 地	一 般 畑 に 用 途 変 更 する 場 合	農 業 団 体 が 必 要 と する 敷 地
			農 業 用 用 排 水 路 ・ 揚 水 機 場 ・ 農 道	自 己 の 宅 地 ・ 倉 庫 ・ 堆 肥 場 ・ 農 道 用 排 水 路 ・ 防 風 林 ・ 水 稻 苗 畑	農 振 内 一 般 畑	事 務 所 ・ 倉 庫 ・ 水 稻 育 苗 施 設 ・ 資 材 置 場 ・ ラ イ ス セ ン タ ー
北 海	全地区	133,910	0	26,780	64,270	80,340
中 村	全地区	125,720	0	18,590	56,080	72,150
岩見沢	全地区	154,750	0	47,620	85,110	101,180
三 笠	前田、小野、 鈴木の沢	163,760	0	56,630	94,120	110,190
	その他	107,130	0	0	37,490	53,560
南岩見沢	全地区	107,130	0	0	37,490	53,560
栗 沢	全地区	133,500	0	26,370	63,860	79,930
東栗沢	全地区	107,130	0	0	37,490	53,560
奈井江	宝田を除く	111,490	0	4,360	41,850	57,920
	宝 田	57,920	0	4,360	23,100	31,140

尚、次の事項に該当する場合は、上記決済金とは別に精算をすることになります。

1. 当該年度賦課金(1期・2期)
2. 過年度賦課金の未納額
3. 国営事業負担残元金(事業完了地区分)
4. 償還残元金(個人別負担分)
5. 農地転用特別決済金(補助金返還)
6. その他協議により負担をする事となった場合の金額

《地区除外決済金の取扱いについて》

◎地区除外により畦畔等の移動があり田区の面積が減になった場合は、田区の減になった面積に単価を乗じて決済金を算出します。

◎地区除外により畦畔等の移動がなく、田区の面積に変更がなかった場合は、決済金は納めないで地区除外とし賦課面積の変更もないものとします。

◎田面積の変更等については、地区除外申請時に聴き取りをします。

(変更の手続きは、**賦課調整課**、**各事業所**にてお願いします。)

平成 21 年度の主な事業

1. 国営土地改良事業

(単位：千円)

事業名	地区名	事業費	主たる事業量（当区関連）
かんがい排水事業（基幹）	空知中央用水（一期）	1,100,000	市来知頭首工改修 鋼矢板仮締切工、一部躯体工及び護岸工護岸工、電気設備工事～一式
かんがい排水事業（基幹）	道央用水（二期）	2,650,000	提体工コンクリート打設 V=100 m ³ 、取水施設工～一式 仮設備工～一式、測量試験費・用地買収及び補償費等～一式
かんがい排水事業（一般・基幹）	道央用水（三期）	4,800,000	道央注中水工 L = 1.9km、 測量試験費、用地買収及び補償費等～一式
かんがい排水事業（新規調査）	北海	30,000	用水改良 頭首工～1箇所・用水路工～2条
農用地再編整備事業（新規調査）	美唄	35,000	区画整理 A =2,695ha 農地造成 A =5ha
計	5	18,750,000	

2. 道営土地改良事業

事業名	地区数	事業費	地区名
基幹水利施設ストックマネジメント事業	2	503,000	北村・中樹林（調査）
ため池等整備事業	1	179,000	栗部
畑地帯総合整備事業	1	90,000	稔南
経営体育成基盤整備事業（集積加速化含む）	25	5,220,645	奈井江瑞穂・高島南・高島北・沼の内・中美唄・峰岩 西川中・大願東・大願西・大願南・川向・幌向・豊里北・豊里南 共栄・大沼・岐阜・由良・夕張太北・晩翠栄・青葉・晩翠 （調査～上幌向・金子・新赤川南）
地域水田農業支援緊急整備事業	1	415,260	南幌
計	30	6,407,905	

3. 団体営土地改良事業

事業名	地区数	事業費	地区名
地域用水機能増進事業	1	24,500	空知中央
経営体育成促進事業（農地集積加速化促進事業）	4	11,000	共栄・豊里南・大願南・新赤川南（先行地区）
国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）	1	163,686	北海
計	6	199,186	

4. 営造物管理費

区分	金額	内訳
頭首工管理費	14,132	補修・保守費 6,300、賃金等 5,290、電気料 2,057、その他 485
貯水池	18,836	補修・保守費 12,710、賃金等 4,596、電気料 780、その他 750
溝路	98,045	補修・保守費 91,740、賃金等 2,935、電気料 1,600、その他 1,770
揚水機	392,231	機電・機場・導水費 55,470、賃金等 70,679、電気料 264,000、その他 2,082
下部交付金・助成金	60,285	分水区運営・支線組合交付金 24,090、支線組合工事助成費 30,195、 電気料助成費 6,000
適正化事業費	221,200	適正化事業 138,800、施設改善事業 82,400
抛出金	67,429	適正化事業 41,529、施設改善事業 25,900
管理諸費等	33,477	管理諸費 17,104、共同管理負担金 15,372、用地確定費 1,000、その他 1
計	905,635	

人事通信

おめでとうございます

土地改良事業功労表彰

平成二十一年三月二十四日（道土地連通常総会・札幌市）の席上、農業農村整備事業功労者に表彰状が贈呈され、当区より次の方が受賞されました。

◎役員

中道 博武 理事・星 政美 理事



功労表彰を受ける中道・星 理事

平成20年度農業農村整備
優良地区コンクール表彰

平成二十一年三月二十五日（東京都・砂防会館別館）全国土地改良事業団体連合会（全国水土里ネット）が主催、農林水産省が後援する平成20年度農業農村整備優良地区コンクールにて当区の経営体育成基盤整備事業「豊正中央地区」が農村整備振興局長賞を受賞いたしました。

○農業生産基盤整備部門

【農村振興局長賞】

豊正中央地区（経営体育成基盤整備事業）

当区土地改良功労表彰及び

永年勤続表彰

平成二十一年三月二十三日（岩見沢市・平安閣）、通常総代会の席上、永年にわたり農業用水利施設の景観増進維持及び啓発活動において多大の貢献をいただいた2団体に当区土地改良功労表彰、又、当区職員永年勤続表彰で次の方々表彰されました。

●土地改良功労表彰

【団体】

◇赤平アジサイロードの会

会長 井上 俊昭

◇なかむらワーク

会長 渡邊 勲

●当区永年勤続表彰

・二十五年勤続

技師 大田 正樹

(技術部 基盤整備課 主査 いわみざわ 土地改良推進本部 勤務)

・二十年勤続

技師 川村 真一

(技術部 工務課 機電管理グループ)



《なかむらワーク》

～功績～

- ◎ 地域活性化の目的で農業用水施設（菱沼周辺）を活用し幅広い交流活動を実践。
- ◎ 毎年8月第1日曜日にカヌー祭実施し、市内外から多数の人たちで賑わい、農業用水施設の啓発活動を実施。
- ◎ 菱沼周辺の生態系調査を実施。

《赤平アジサイロードの会》

～功績～

- ◎ 用水路沿いの景観美化のため地元住民の他、市内子供達・一般住民まで幅広く参加。
- ◎ 休憩施設・看板等を地域住民と自作で複数設置。
- ◎ サクラ等の植栽を契機に恒例的な夏祭りを催し、市内外から多数参加。



永い間ご苦勞様でした

☆役員の動向

▼当区理事の伊藤 仁・岩田良明氏の両氏が、退任されました。

伊藤氏は旧中村土地改良区理事長代行及び北海道改良区の役員として十三年間、岩田氏は、昭和五十五年より旧岩見沢土地改良区理事長及び北海道改良区の役員として二十七年間、永きに亘り土地改良区業務運営の健全化に尽力、両理事とも平成十五年四月の土地改良区合併には指導力を発揮されご協力いただきました。

・伊藤 仁氏

(平成二十一年一月十一日 逝去)

・岩田 良明氏

(平成二十一年二月十日 退任)

☆総代の動向

第十五期総代において、左記の方が退任されました。
永年地域農業並びに当区業務運営にご尽力賜り厚くお礼申し上げます。

選挙区	氏名	退任事由
第十六区	猪岡 和成	賃貸借
		平成二十一年一月八日

この退任に伴い、定数一〇六名に対し、現員一〇五名(欠員一名)であります。

☆分水区長・支線組合長の動向

▼分水区長の異動がありましたのでお知らせ致します。

今般退任されました分水区長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々のご厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。

今回新たに選任されました方々には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。
又、永年歴任いただきました退任された分水区長に、その功績に対し顕彰規定により感謝状を贈呈いたしました。

分水区名	退任者	在任期間(分水区・支線組合)
第2分水区	石丸 彰	(分) 平成七年～平成二十一年 (支) 昭和六一年～平成二年 通算十八年間(永年歴任表彰)
第6分水区	石若 茂	(分) 平成十五年～平成二十一年 (支) 昭和六十二年～平成二十一年 通算 二十八年間(永年歴任表彰)
第9分水区	朝山 清一	(分) 平成十九年～平成二十一年 (支) 平成十五年～平成二十一年 通算 八年間
第10分水区	珍田 洋一	(分) 平成十三年～平成二十一年 通算 八年間
第17分水区	芳賀喜一	(分) 平成十九年～平成二十一年 (支) 平成十五年～平成二十一年 通算 八年間
第18分水区	土田 繁雄	(分) 平成十三年～平成二十一年 (支) 平成三年～平成二十一年 通算 二十六年間(永年歴任表彰)

▽第2分水区



鈴木 一男 新区長
(奈井江町字茶志内一六五〇)

▽第6分水区



前川 隆 新区長
(美唄市峰延町峰樺一区)

▽第9分水区



大沢 博美 新区長
(岩見沢市栗沢越前六五七)

▽第10分水区



白倉 博和 新区長
(南幌町南十八線西十二番地)

▽第17分水区



平野 孝吉 新区長
(岩見沢市北村赤川三九一五)

▽第18分水区



藪中 哲雄 新区長
(岩見沢市栗沢町茂世五三三八八)

支線組合名	退任者	新任者
茶 志 内 北	稲垣 英男	仲丸 茂廣
茶 志 内 中央	星野 一雄	高橋 勉
沼 貝 南	山崎 忠義	岸本 隆司
光 珠 内 甲幹線	渡辺 雄市	河野 潔
光 珠 内 乙	荒井 良治	鹿野 政信
三 笠 ・ 東 区	石若 茂	安藤 俊秀
上 志 文	山田 時夫	本田 敏和
小 西	大槻 茂治	稗田 武夫
岐 阜	菅原 誠	平川 昭彦
砺 波 揚 水 機	浅田 弘	長谷川 幸廣
砺 波	竹藪 祐治	本田 雅良

▼支線組合長の異動がありましたのでお知らせ致します。
今般退任されました支線組合長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々のご厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。
今回新たに選任されました方々には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支線組合名	退任者	新任者
栗部・北斗	朝山 清一	鎌倉 利雄
北 斗 越 前	菅原 信一	西田 啓良
青 葉	穴戸 貞利	川島 政美
三 重	佐藤 正一	五十嵐 義克
晚 翠	白倉 敏美	高橋 利次
中 美 唄	須藤 春司	菅 栄一
岩見沢第四	小山 博士	葛西 豊一
岩見沢第七	芳賀 喜一	中田 清久
豊 成	土田 繁雄	尾崎 優一
由 良	杉村 義一	籠島 孝義
支線組合名	退任者	在任期間
茶 志 内 北	稲垣 英男	平成五年～平成二十一年 通算 十六年間

又、永年歴任いただき退任された稲垣支線組合長に、その功績に対し顕彰規定により感謝状を贈呈いたしました。

★職員人事異動

・退職

▽三月三十一日付（定年退職）

皆 川 雅 明

（総務部部長）

▽三月三十一日付（定年退職）

瀬 部 英 男

（技術部部長）

▽三月三十一日付（定年退職）

中 村 洋 二

（技術部次長）

▽三月三十一日付（定年退職）

村 上 彰

（いわみざわ土地改良推進事務所所長）

▽三月三十一日付（定年退職）

前 川 保 二

（技術部砂川事業所主幹）

▽三月三十一日付（依願退職）

伊 藤 大 剛

（水土里ネット推進室 技師）

▽三月三十一日付（依願退職）

田 中 未 来

（総務部 賦課調整課 臨時職員）

・ 四月一日付異動発令

《異動発令》

▽ 総務部 部長

北口 修作

(総務部次長)

▽ 総務部 次長

泉 隆

(総務部総務課長)

▽ 技術部 次長

池田 史晴

(岩見沢事業所所長)

▽ 総務部 総務課長 兼 庶務 G 主幹

永田 哲也

(総務部総務課庶務 G 主幹)

▽ 技術部 岩見沢事業所 所長

若松 光良

(技術部栗沢事業所所長)

▽ 技術部 基盤整備課 課長

南幌町農業農村整備事業推進本部 出向

松田 勝美

(技術部 基盤整備課 主幹
南幌町農業農村整備事業推進本部 出向)

▽ いわみざわ土地改良推進事務所 所長

吉川 隆

(技術部北村事業所所長)

▽ いわみざわ土地改良推進事務所 主幹

中山 勝

(いわみざわ土地改良推進事務所副主幹)

▽ 技術部 砂川事業所 主幹

羽広 昭一

(技術部砂川事業所副主幹)

▽ 技術部 美唄事業所 主幹

池田 伸二

(技術部美唄事業所副主幹)

▽ 技術部 岩見沢事業所 主幹

泉 俊次

(技術部栗沢事業所主幹)

▽ 技術部 岩見沢事業所 主幹

中内 貞夫

(技術部北村事業所主幹)

▽ 技術部 美唄事業所 副主幹

湊 弘

(技術部南幌事業所副主幹)

▽ 技術部 美唄事業所 副主幹

舘 義治

(技術部美唄事業所主査)

▽ 技術部 岩見沢事業所 副主幹

白川 和典

(技術部栗沢事業所 副主幹)

▽ 技術部 南幌事業所 副主幹

板東 達也

(技術部 基盤整備課 主査 美唄市土地改良センター 出向)

▽ 技術部 基盤整備課 副主幹

美唄市土地改良センター 出向

村上 信之

(技術部 基盤整備課 主査 美唄市土地改良センター 出向)

▽ 技術部 基盤整備課 副主幹

南幌町農業農村整備事業推進本部 出向

高橋 勝徳

(技術部 基盤整備課 主査
南幌町農業農村整備事業推進本部 出向)

▽ 技術部 基盤整備課 副主幹

いわみざわ土地改良推進事務所

大田 正樹

(いわみざわ土地改良推進事務所主査)

▽ 総務部 賦課調整課 主査

金子 忍

(総務部 賦課調整課 主事)

▽ 総務部 総務課 主査

小田島 利浩

(総務部 総務課 主事)

▽ 技術部 管理課 主査

松本 淳二

(技術部 管理課 主事)

▽ 技術部 岩見沢事業所 主査

本多 正人

(技術部栗沢事業所 主事)

▽ 技術部 基盤整備課 技師

美唄市土地改良センター 出向

播磨 傳

(いわみざわ土地改良推進事務所 技師)

▽ 技術部 基盤整備課 技師

いわみざわ土地改良推進事務所

永谷 拓也

(技術部北村事業所 技師)

▽ 水士里ネット推進室 技師

大田原祐輝

(技術部北村事業所 技師)

▽ 総務部 賦課調整課 臨時職員

湯浅 絵美

(技術部栗沢事業所 臨時職員)

▽ 技術部 岩見沢事業所 臨時職員

小林紗矢香

(技術部北村事業所 臨時職員)

《嘱託発令》

▽ 技術部 部長

瀬部 英男

▽ 技術部 基盤整備課 課長 役

村上 彰

(美唄センター 出向)

▽ 総務部 工務課 調査 役

中村 洋二

・新規職員採用

平成二十一年四月一日付で新規採用となりました。
どうぞよろしくお願いいたします。



池田 俊弘

(総務部 総務課 庶務G 主事補)



跡部 貴史

(技術部 工務課 機電管理G 技師補)



小野 亮祐

(技術部 砂川事業所 技師補)

本年は、役員の 改選の年であります

現役員は、平成21年9月18日をもって任期満了となりますので、定款17条の定めにより次期総代会(平成21年8月予定)において改選(理事18名・監事5名)が行われます。

おくやみ

当区関係者において、左記の方々のご逝去されました。

ここに、生前中当区業務運営にご尽力賜りました事に深く感謝申し上げ謹んでご冥福をお祈り致します。

◎役員

伊藤 仁氏(美唄市)

旧中村土地改良区

元理事長代行(平成十一年四月～平成十五年三月)

北海土地改良区

理事(平成十五年四月～平成二十一年一月)

平成二十一年一月十一日逝去

◎元役員

新藤 美智夫氏(南幌町)

旧北海土地改良区

元総括監事(昭和四十九年九月～昭和六十一年九月)

平成二十年十二月十七日逝去

松田 清作氏(岩見沢市)

旧岩見沢土地改良区

元理事(昭和六十二年二月～平成七年二月)

元理事長代理(平成七年二月～平成十一年二月)

平成二十一年二月十七日逝去

◎組合員

小河 章氏(美唄市)

豊葦支線組合

平成二十年七月二十一日逝去

背戸田 幸憲氏(岩見沢市)

滝の上支線組合

平成二十年十一月十一日逝去

段坂 清司氏(岩見沢市)

元総代(昭和六十二年十月～平成十九年十月)

小西支線組合

平成二十年十二月二日逝去

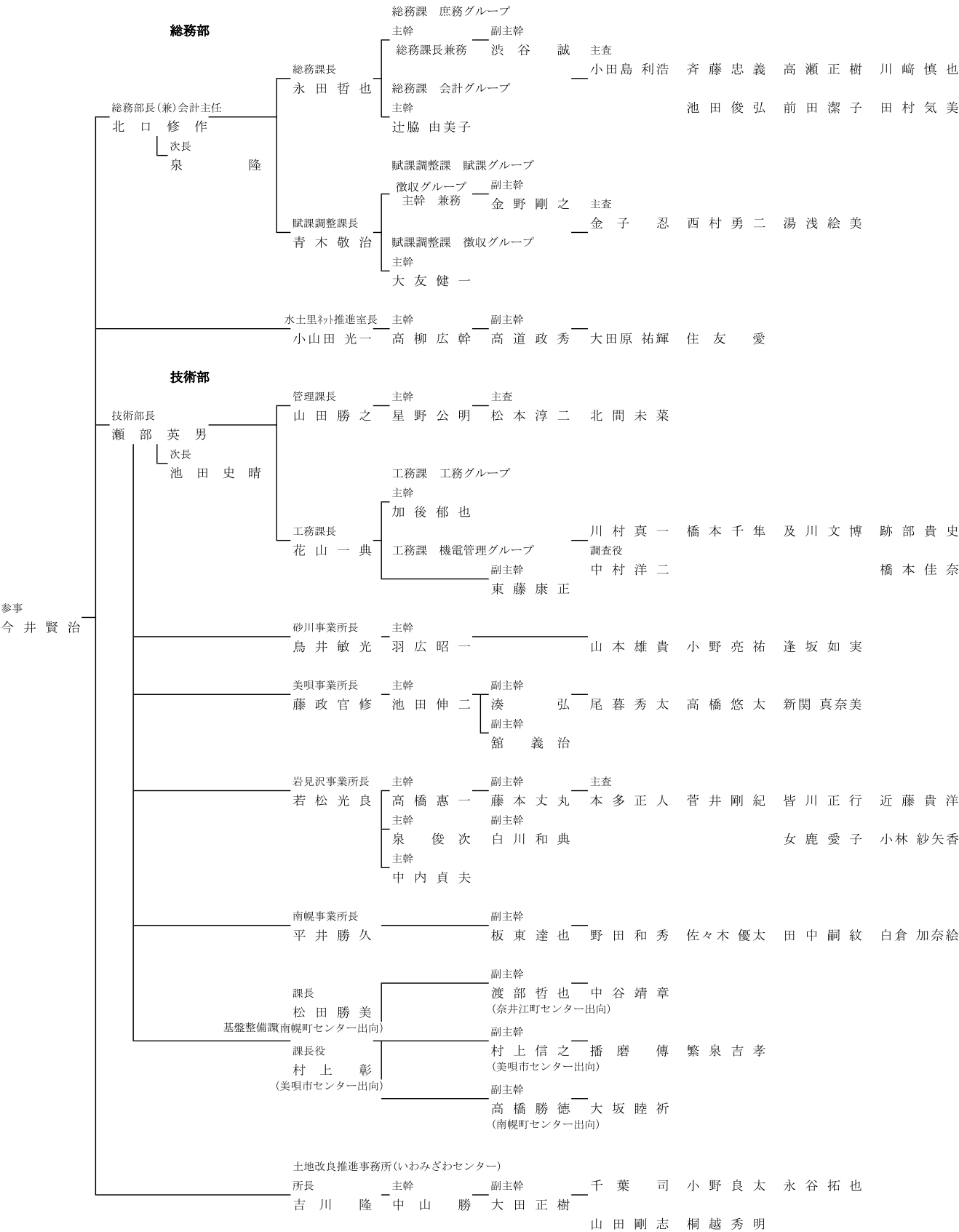
岩城 百合子氏(岩見沢市)

上志文支線組合

平成二十一年十一月六日逝去



業務執行体制 (平成 21 年 4 月現在)



空知中央地区 地域用水機能増進事業

空知中央地区地域用水対策協議会【事務局：北海土地改良区、国（札幌開発建設部）、北海道（石狩支庁、空知支庁）7市町村（赤平市、砂川市、奈井江町、美唄市、三笠市、岩見沢市、新篠津村）、関係6農協、土地連、新篠津土地改良区等で構成】は地域の人や一般の人たちと共に地域用水機能増進に向けた活動を実施しています。

啓発活動 子どもや一般人への農業用水施設見学会の実施

農業用水施設や農業農村の役割や大切さ、多面的機能を説明

◎砂川子ども水辺協議会（砂川市 大人26名、子供20名参加） ・平成20年8月10日(日)



砂川市親水公園（下部に北海幹線が流下）



北海頭首工 管理棟事務所

アンケート調査では下記の意見が多くありました。

- ・農業に水が必要と思っていたが、こんなにも大量の水が必要で驚いている。
- ・農業用水施設にたくさんの役割があり、改めて大切なことがわかった。
- ・土地改良区の仕事がわかり参加して良かったので来年も実施してほしい。

◎滝川市立東栄小学校5年生8名（引率教諭1名） ・平成21年5月15日(金)



北海頭首工



赤平市 北海幹線用水路

平成20年度より岩見沢農業高校と札幌岩見沢農業事務所との教育支援交流に協力

◎農業土木工学科 2 年生 38 名参加

・平成 20 年 7 月 11 日(金)



美唄 間の沢揚水機

◎農業土木工学科 1 年生 40 名参加

・平成 20 年 8 月 22 日(金)



岩見沢市志文 北海幹線用水路

◎農業土木工学科 3 年生 34 名参加

・平成 20 年 11 月 27 日(木)



三笠市 市来知頭首工

◎農業土木工学科 3 年生への出前授業

・平成 20 年 6 月 23 日(月)



岩見沢農業高校教室

◎専修大学北海道短大みどりの総合科学科 2 年 18 名 教授 5 名 ・平成 20 年 7 月 4 日(金)



北海頭首工 管理棟事務所



美唄事業所で業務内容説明

《お 知 ら せ》

～ 農 業 委 員 の 推 薦 に つ い て ～

北海土地改良区が関係する農業委員会の団体推薦委員について、下記のとおり変更がありましたので、お知らせいたします。

	関係市町村	定数	選任土地改良区	住 所	氏 名	摘 要
変更前	岩見沢市	1 名	北 海	岩見沢市稔町 913 番地	岩田 良明	組合員資格喪失の為
変更後	〃	〃	〃	岩見沢市西川町 451 番地	長井 眞一	

～事業所統合による

事業所管轄の新体制について～

日頃、当土地改良区の運営と事業推進につきましては、組合員方々の格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、北村事業所・栗沢事業所が平成21年4月1日より岩見沢・美唄事業所と統合となり事業所管轄が下記の様に変更になりましたので、お知らせいたします。

今後共、御理解・御協力いただきますようお願い申し上げます。

新管轄	美唄事業所	岩見沢事業所	
旧管轄	(北村事業所)	(北村事業所)	(栗沢事業所)
	第 14 分水区	第 13・15 分水区	第 9・18 分水区
住 所	美唄市東 5 条南 7 丁目	岩見沢市 6 条西 7 丁目 1 番地	
電話番号 FAX 番号	T E L 0126-62-2177 F A X 0126-62-0942	T E L 0126-22-2400 F A X 0126-22-8012	



近年、農業農村を取り巻く社会情勢の変化に対応し、農業水利施設の持つ多面的機能の発揮等を通じて、農村の豊かな自然環境と調和がもたれ、併せて、資源としての水利用が各方面で着目される状況下にあつて、農業用水も地域用水としての期待も大きく、その効率的配慮が以前にも増して重要視されております。

本年度も、皆様のご協力を頂ながら万全の体制を整え利水調整を行ってまいりますので、引き続き節水と節電にご協力お願い申し上げます。

節水と節電に
ご協力を



事故防止啓発ポスター

(幼稚園、小学校、他公共施設等に掲示)

用水路への 転落事故防止について

今年も五月初旬から八月下旬まで当区の用水路には、たくさん水が流れ、幼児・児童にとつては大変危険な時期となります。

昨年は、皆様のご協力により事故はありませんでしたが、今年も空知支庁と連携をとりながらの広報車による啓発、ポスターの掲示、風船、パンフレットの配布、防護柵、看板等の整備、設

置を行い転落事故を未然に防ぐべく活動を行って参りますので、組合員の皆様におかれましても幼児・児童が用水路の付近で遊んでいるところを見かけましたら一言「あぶないよ」と声をかけていただきますよう協力願います。

★今年の主な活動

ポスター	二〇〇枚	掲示
風船	七〇〇〇個	配布
パンフレット	六〇〇〇枚	配布
救難用ロープ	一三七か所	設置

☆用水路、及び用地内に

ゴミを捨てないで!

五月の通水開始にあたり、用水路の整備点検を毎年行っておりますが、用水路の中は例年のごとく家庭用のゴミ、稲株、空き缶等や大型ゴミが投棄されている状況にあります。尚、揚水機場・各取水施設等も同様です。

これが原因で通水に支障をきたすばかりでなく小さなお子さんには遊び場所にもなり大変危険ですので、ゴミ、稲株等は所定の場所をお願い致します。



「雪解け後通水前の幹線の様子」